

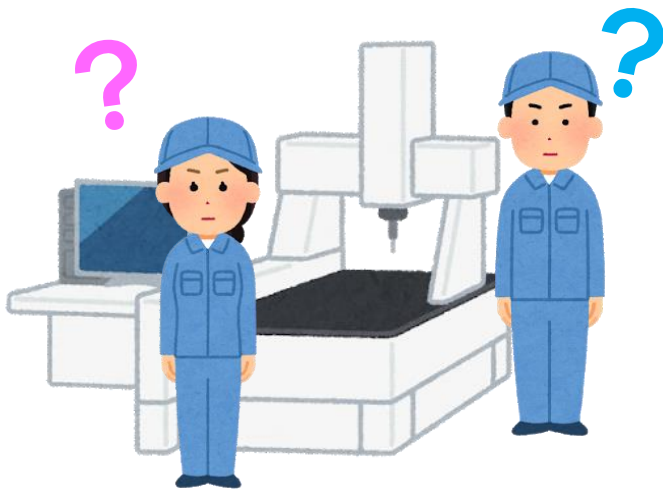
# 三次元測定機取り扱い者のための教科書活動

地方独立行政法人 青森県産業技術センター、地方独立行政法人 岩手県工業技術センター、宮城県産業技術総合センター、秋田県産業技術センター、山形県工業技術センター、福島県ハイテクプラザ、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター、地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所、石川県工業試験場、山梨県産業技術センター、長野県工業技術総合センター、岐阜県産業技術総合センター、静岡県工業技術研究所、あいち産業科学技術総合センター産業技術センター、名古屋市工業研究所、滋賀県東北部工業技術センター、京都府中小企業技術センター、地方独立行政法人 鳥取県産業技術センター、公益財団法人 広島市産業振興センター、地方独立行政法人 山口県産業技術センター、福岡県工業技術センター、熊本県産業技術センター、鹿児島県工業技術センター、産業技術連携推進会議 知的基盤部会

## 授与の理由

- ・ 27機関が参加して三次元測定機（CMM）のノウハウの検証を行い、効果的な使い方のアドバイスをまとめた教科書を平成27年より毎年作成し、のべ400部を発行した。
- ・ 公設試での技術相談や研修で活用されるほか、精密測定機器工業会のセミナーで発表して毎回100名以上の企業参加者へ周知した。

## 活動内容



- ◆ 三次元測定機(CMM)による測定のノウハウを検証
- ◆ CMM初心者にもわかりやすい教科書としてまとめた
- ◆ 公設試などにおける企業への技術指導や教育、講習などに広く活用
- ◆ 7年にわたり27機関が参加し作成

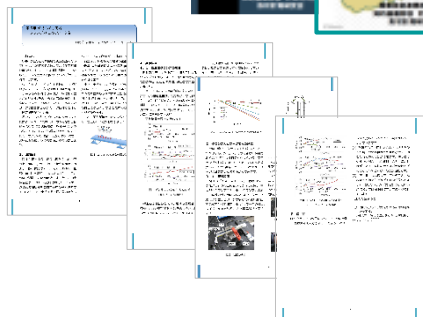
三次元測定機(CMM)は、高性能な形状測定機としてモノづくり企業に導入されている。正しく使用すれば高精度で万能な形状測定が可能だが、使用に際して多くの知識と経験を要するため、公設試への技術相談も多い装置である。

本活動では、定説となっているCMM使用のノウハウ(都市伝説)の正否や根拠を検証し、CMMの初心者から熟練者までが参考にできる、効果的なCMMの使い方の教科書としてまとめた。

知的基盤部会計測分科会形状計測研究会と産総研計量標準総合センターのメンバーが、1機関1つのテーマに取り組み、27機関が参加した。これまでに第1部から第5部を発行し、今年度第6部の発行を準備している。



↑ CMMの都市伝説 第1部から第6部(予定)



← 内容の一例